

## 第3回 タウンミーティング開催報告

項目	内容
日時	令和6年11月21日 午後7時～8時
場所	市役所4階 会議室4-3
対象	農で頑張る協議会
参加者数	8人
概要	① 開会 ② 市長あいさつ ③ 自己紹介 ④ 意見交換 ⑤ 閉会
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者 竹林整備をしている。木材は、チップになり業者に購入してもらえるが、竹は産廃になり購入どころか、処分に経費がかかる。竹林整備をすることで市の環境や景観がよくなると考えている。整備には費用がかかるので、支援してほしい。</li><li>参加者 東京の販売会で販売先を確保するなど努めているが、資材や人件費の高騰に悩まされている。また、人材の確保には苦勞しており、農業をしたい人とのつながり方がわからない。行政の役目かは不明だが、どの分野でも共通の課題である人材のマッチングの機会を作ってもらえないか。</li><li>参加者 農で頑張る協議会は、直売の活動のみになってきている。他の展開を期待する。</li><li>参加者 地元の人に地元産品を地産地消してほしい。また、地元の人だけでなく市外の人を誘致できる</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参加者</li> <li>• 参加者</li> <li>• 市長</li> </ul>	<p>ように、何かの大会や、特産品の販売をする機会を木津川市でつくってはどうか。</p> <p>10年前に製茶をやめ、11月から試験的に外国人20人ほど呼び込み、茶畑で利き茶をしたり、番茶で米を炊いたり、日常の体験を楽しまれた。個々の動きに行政がどのように絡んでもらうとよいかと考える。名前と場所をまずは知ってほしい。まずは、市内の人に知ってほしい。</p> <p>観光客へのアピールは、逆に、教えないでくださいといった特別感を売りにすることも可能ではないか。</p> <p>給食は、特区として恭仁小オリジナルで何かできないか。マンモス校の学校に通えない児童が、校区にとらわれずに登校できるようにするなど、木造建築の恭仁小をもっと生かせないか。</p> <p>観光は企画を考えた時に、人員や宿泊の問題などリアルな問題に直面してくる。行政として、施設を充実させる必要は感じている。道の駅も、道や、周りの施設が充実した際に造るべきだと考えている。農で頑張る協議会が2年後に10周年を迎えるのでその時に向けて何か企画をするのもよいと考える。学校給食は、栄養が大切だと私も考える。特区のみの給食というのは難しいと思うが、校区に関わらず登校することはできる状況。</p> <p>これからも皆様から情報や意見などご協力いただきながら、農業振興について考えていきたい。</p>
--	--	---